

施設内EMC電磁環境調査プロトコル

株式会社〇〇〇〇 様

見本

メディカル・エイド株式会社

令和■年■月■日

ご要望の△△△△装置の画像に発生するノイズ現象について調査プロトコルを以下の通りにご提案いたします。

1) 試験装置

	装置名	品名	備考
1	交流磁束密度測定装置	ELT-400型磁界暴露レベルテスタ	測定周波数 1Hz～400kHz
2	高周波電磁界測定装置	NBM-520型高周波電磁界測定器	測定周波数 100kHz～3GHz
3	直流磁束密度測定装置	TM-701テスラメーター	静磁界

2) 測定対象機器と測定ポイント

1 測定対象

△△△△検査室

1) まずはノイズの影響が最も表れている△△△△検査室を調査し対策方法を見定めたくうえで他の部屋の調を行う

2 測定方法

1) 電磁波シールド材で△△△△検査室の装置を覆いノイズが低減するか確認しノイズの原因が放射ノイズによるものである事を確認する

2) 天井、床、壁4面、設置されている機器や△△△△検査室の放射ノイズを測定し放射ノイズの強い箇所を特定する
(ノイズの影響が最も強い〇時と影響が小さい〇時に測定を実施する)

3) 放射ノイズ対策

1 測定結果を参考に電磁波シールド材を使用し放射ノイズの遮蔽を行い効果を確認する

配置方法としては以下の4つを試験する。

- △△△△を電磁波シールド材で覆う
- △△△△と本体と繋がっているコードを電磁波シールド材で覆う
- △△△△とコード、さらに本体の一式すべてを電磁波シールド材で覆う
- 放射ノイズが最も強い箇所と上記の間に電磁波シールド材を配置する

2 上記の配置で改善が見られたら、電磁波シールド材をもちいてノイズ対策用のソリューションを作成する。

3 画像のノイズ発生原因が△△△△検査室内の機器などが原因ではなかった場合、発生源を特定するには施設内のすべての部屋の設備や機器に対して電磁界調査を実施する必要があると思われる。

測定結果や電磁シールド材の効果より考察を行い、後日調査を行っていない△△△△検査室の放射ノイズ測定・対策を行う。

4) 電磁界調査に基づく報告書について

1 上記試験に基づいて報告書を提出いたします。